

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月 4日 更新

事務事業名	合志市郷土・歴史資料館運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名 上原哲也
	施策	24	歴史と伝統文化を活かした郷土愛の醸成		所属課	生涯学習課	担当者名 菅真一郎
	基本事業	80	歴史と伝統文化に触れる機会の提供		所属班	生涯学習班	(内線) 1513
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : ①
	一般	10	5	7	10923		コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成7年度、合志歴史資料館及び西合志郷土資料館完成。それに伴い事業開始。歴史資料館長を1人配置し歴史資料等の収集・保管・管理及び展示を行なっている。文化財保護の啓発および市民の郷土史学習の支援として、ふるさと探訪まちめぐりバスを複数回実施。年に1回合志歴史資料館にて特別展を開催。子ども歴史科学体験教室については、子どもたちの体験活動支援事業として平成16年度開始。郷土の文化財を周知し、市民に学習の場を提供することを目的として設立。現在残されている貴重な史料は、経年による劣化や破損、散逸の危険性が増えていく。それに伴い、保護して後世に残すべき史料は少しずつ増加すると思われる。また、子ども歴史科学体験教室については、年々参加者が増加している。
【業務の流れ】	収蔵資料の収集、研究、資料作成、展示物および収蔵資料の保管・公開、資料の寄贈・寄託受入れ、市史編纂資料の収集・作成、郷土史学習講座講師、体験教室・企画展の開催。
【主な予算費目】	報酬、職員手当等(時間外勤務手当)、報償費、需用費(消耗品費、備品購入費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	もっと周知や内容の充実し利用促進を望む意見が出ている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
◎ふるさと探訪まちめぐりバスを4回実施した。 ◎特別展は、『合志市の交通～過去～現在～展』を実施した。 ◎郷土資料の収蔵・展示・収集 ◎子ども歴史・科学体験教室を10回実施	◎ふるさと探訪まちめぐりバス ◎特別展 ◎郷土資料の収蔵・展示・収集 ◎子ども歴史・科学体験教室
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 展示資料数 イ: 講座開催回数	印刷製本費、書籍等購入費の減。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
	→ ア: 人口 人 イ: 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 郷土史を学ぶことができる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
	→ ア: 来館者数 人 イ: 回
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠 より多くの市民に郷土の歴史について知ってもらうため。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
① 活動指標	ア 点		300	300	300	300	300	300	300	300	
	イ 回		10	10	10	10	10	10	10	10	
② 対象指標	ア 人		55,000	55,828	56,000	56,638	57,000	58,000	59,000	60,000	
	イ 回										
③ 成果指標	ア 人		6,500	8,606	9,700	8,638	9,800	9,900	9,900	9,900	
	イ 回										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円			12		12			
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	1,946	1,951	2,145	2,140	1,940	1,952	1,952	1,952
		(A)のうち指定経費	千円	1,946	1,951	2,157	2,140	1,952	1,952	1,952	1,952
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920
		正規職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	370	610	900	250	600	600	600	600
(B) 人件費計	千円	1,472	2,513	3,708	1,009	2,472	2,472	2,472	2,472		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,418	4,464	5,865	3,149	4,424	4,424	4,424	4,424		

事務事業名	合志市郷土・歴史資料館運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 入館者数が、予定数を下回ったため。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 入館者数が、予定数を下回ったため。
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 H24年度に資料館の燻蒸業務を行うため、1週間臨時休館とし、来場者数が予定数より減る可能性がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 H24年度に資料館の燻蒸業務を行うため、1週間臨時休館とし、来場者数が予定数より減る可能性がある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 より多くの市民の文化財に対する認識を深めるため、周知を徹底することで来館者を増加させることが必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 より多くの市民の文化財に対する認識を深めるため、周知を徹底することで来館者を増加させることが必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 当面は現状維持であるが、今後財政難が続くようであれば両資料館との統廃合や分業により、それぞれ目的を分けて有効活用する。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、必要最小限の経費で運営しているため、削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、必要最小限の人件費で運営しているため、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 資料館は無料で誰もが来館し、歴史や文化を学ぶことができる教育施設であるため。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の文化・歴史に関わる資(史)料を収集・保管・管理することは市の勤めである。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

市長のマニフェストを受け、従来行なってきた「ふるさと探訪バス」を「ふるさと探訪まちなめぐりバス」としてリニューアルし回数も増やすことで、市民がより郷土の歴史や文化に親しむ機会を増やすことができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					